

提供者名：赤星 淑子		福岡県開放特許	2022-004
タイトル：衛生マスク体			
技術分野	利用分野・適用製品	情報メモ	
<input type="checkbox"/> 電機・電子 <input type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 有機材料 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 機械・加工 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input checked="" type="checkbox"/> 生活・文化 <input checked="" type="checkbox"/> 繊維・紙 <input type="checkbox"/> 医療・介護	衛生マスク 詳細資料： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 サンプル： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見学： <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 その他：	
従来技術の課題・問題点			
マスク着用時、着用者の頬とマスクの間に顔形状や表情により隙間ができ、ウイルス、花粉の飛沫の侵入や、さらに会話時に頬が動くためマスク体が鼻側にずれ上がる問題があった。			
本発明の効果・特長			
マスク両端部にギャザーを備えたことで、隙間を防ぎ、上下方向へ引っ張ると両端部分の伸びないギャザーが略半円形状の膨出呼吸空間を作り呼吸し易くなる。さらに両端部の粘着素材により耳掛け紐も無くすることができ見栄もよくなるという相乗効果もある。			
技術概要（構造・動作等）			
覆い部(下図 2)は、矩形の素材の縦方向に伸縮可能な複数のギャザーが形成されるとともに、複数のギャザーの各々の両端部において、マスク本体の構成として、覆い部の寸法横幅 18 cm×縦幅 17 cm,伸びないギャザー(下図 7)の寸法はマスク本体の縦幅の 3 cmの長さに相当する長さのギャザーの側壁同士が接合されて成る 2つの伸びない側縁部を備え、2つの耳掛け部の各両端部が、覆い部の上隅と下隅とに接合され覆い部の上縁部に、塑性変形が可能な材料からなる長手形状のノーズワイヤを備えることで鼻の近傍辺りのフィット性は向上することを特徴とする全体面が略楕円形の衛生マスク。また、覆い部の両端部に、粘着性素材(下図 9)を用いることで耳掛け紐(下図 4)が不要となる。			
図・特記事項・その他			
1'マスク本体,2 覆い部,4 耳掛け紐,6 ノーズワイヤ,7 伸びないギャザー,8 伸縮可能ギャザー,9 粘着テープ,A イヤリング			
主たる提供特許		関連特許番号	
登録番号／公開番号：特許第 6910400/特開 2021-42495			
出願日：2019/9/10			
発明の名称：衛生マスク体			
権利者／出願人：赤星 淑子			